

第 16 回(令和 6 年度第 2 回) 東京女子医科大学病院医療安全監査 議事要録

日 時 : 2025 (令和 7) 年 3 月 5 日 (水) 14:00~15:40

場 所 : 総合外来センター 5 階大会議室

監査委員:(敬称略)

委員長 小川 秀興 (学校法人 順天堂 理事長) (A)

委 員 小林 弘幸 (順天堂大学 大学院医学研究科病院管理学 教授) (A)

委 員 中村 芳夫 (日本心臓財団代表理事) (C)

委 員 坂東 真理子 (学校法人 昭和女子大学 総長) (C)

委 員 岩田 喜美枝 (社外取締役 味の素等) (C)

委 員 小海 正勝 (本学顧問弁護士(医療分野専門)、高田・小海法律事務所) (B)

A: 医療に係る安全管理に関する識見を有する者

B: 法律に関する識見を有する者

C: 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者

監査内容:

1. 前回監査における指摘事項に関する改善点や変更点等について

(1) 前回監査での指摘事項に対する分析と課題

- ・患者参加型医療に対する取り組み
- ・医療安全啓発センター

2. その他事項

(1) 病院機能評価補充審査受審後の RRS・集中治療体制について

(令和 6 年 8 月 26 日受審)

(2) 医療法第 25 条第 1 項の規定に基づく立入検査時の医療安全にかかる指摘事項

(重大事故発生時の報告体制など) について (令和 6 年 9 月 17 日受検)

(3) 鎮静マニュアル(小児、成人)にかかる課題について

3. 前回以降に取り組まれた課題、その他(病院でのアピール点、取り組みなど)

監査委員による講評

医療安全各論的

- ・ ハイリスク検討会、患者相談窓口(医療対話推進室)について、高く評価できるとりくみであり今後も継続していただきたい。

- ・ 医療安全啓発センターの計画をすすめていただきたい、期待している。
- ・ 患者参加型医療の対する取り組みに関して、IC についてチェックシートを用いて患者からの意見を収集し、指摘事項を改善—患者さんに還元していただきたい。

今後の課題：

- ・ 薬剤、チューブ、転倒が医療安全の３大トラブルである。これをいかに減らすか、そしてカスタマーハラスメントへの対応も必要である。
- ・ 大学病院全体の組織としての医療安全に関するビジョン、取り組みを示し、目標をきめ自己評価を含め、経年的な資料を出していただきたい。
- ・ 外部から医療安全活動の成果がみえるように情報を発信してほしい。
- ・ 患者中心、患者参加型の医療を是非お願いしたいという要望に対し、患者の立場を重視された資料が、提示されたことは非常によかった。しかし。患者目線の医療について対応がまだ不十分である。大学病院組織として取り組んでいることを示してほしい。

以上